

6. 海外との学校交流について

【台湾とのオンライン交流】

(1) 概要

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、海外との往来が困難になって以来、訪日教育旅行等に伴う学校交流が中断している。そこで県観光プロモーション課の斡旋により、Google Meet 等のツールを用いた Web 交流を実施することとした。こちらからは、地域や人数、時期などの希望を伝え、これに沿うような交流校をマッチングしていただいた。

交 流 校 稲江高級護理事業職業学校（台湾台北市）

日 時 令和3年1月19日（火）16時～17時

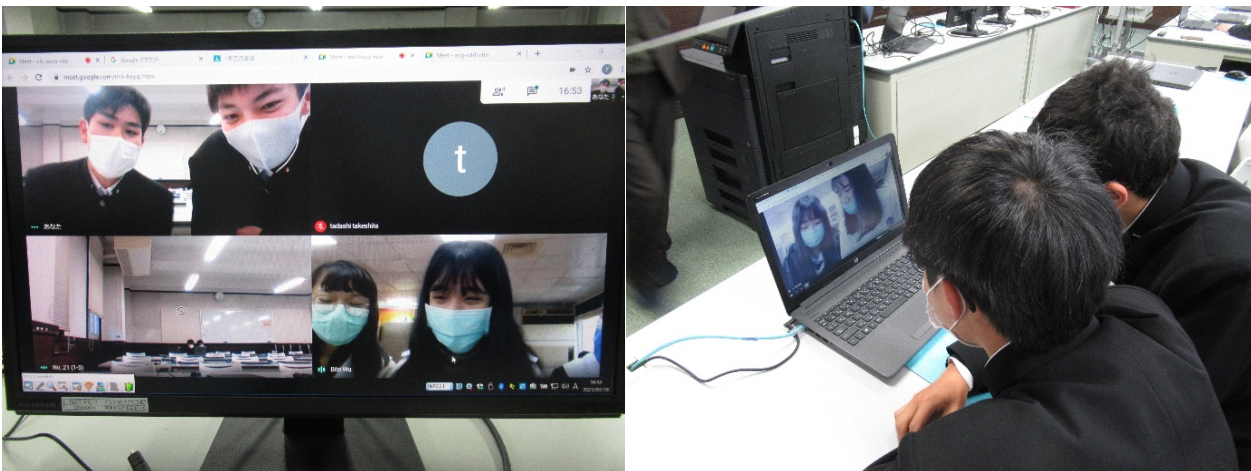
対象生徒 本 校→第1学年の交流委員18名(男子13名、女子5名)

相手校→高等部応用外語科日本語専攻27名(全員が女子生徒)

(2) 事前準備

各クラスの交流委員には2学期末の段階で、交流内容を予め考えておくよう宿題を出しておいた。畝傍高校の紹介を考えたり、奈良県の世界遺産について調べたり、日本で流行っている歌謡曲やアニメについての資料を集めたりしていた。互いの教員間ではメールで連絡を取り合いながら、交流班の班分けや通信機器のセッティング方法等について協議した。年が明けてからは実際に回線を繋いでのテスト通信も実施した。ビデオ会議の参加に必要なログインアカウントは、畝傍高校側で必要班数分を事前に作成した上で、相手校にメールで知らせておいた。

(3) 当日の様子



全体会（開会行事や閉会行事）と分散会（班別交流）とに分けて実施した。事前に通信テストを実施していたが、当日いざ繋ごうとしたところ Wi-Fi の回線状態が悪化したため、急遽全体会の場所をコンピュータ室（有線接続）に変更した。一部聞き取りにくいところもあったが、終始和やかな雰囲気でもオンライン交流が始まった。全体会では互いの学校代表が英語で簡単に挨拶を交わし、その後は時間も押していたこともあって、すぐに分散会へと移行した。クラス毎に9つの

班に分かれ、互いの声が邪魔にならない程度に離れた場所、若しくは別教室に移動して班別交流を開始した。最初は自己紹介など事前に準備していた原稿を読みながらの会話であったが、そのうち慣れてくると拙い英語ではあっても身振り手振りを交え、相手に質問したり返答したりと自由に会話を楽しんでいた。中にはギターを持ち込んで歌を披露したり、人気漫画の単行本をカメラ越しで紹介したりする班もあった。相手校の生徒たちは日本語を専攻している者ばかりで、英語よりもむしろ日本語の方が堪能なのではと思えるぐらい流暢であった。そのため、交流の最後の方では互いに日本語で会話している班が多かった。時間を忘れるぐらい盛り上がっているところもあったが、予定の時間を過ぎていたため途中で終了せざるを得なかった。その後元の会場に再度移動して、閉会行事を行った。お礼の挨拶を交わした後、互いにカメラの前に集合して記念撮影をオンライン上で行った。最後は手を振り合って「さよなら」をしたが、いつまでも名残は尽きない様子であった。

(4) まとめ

今回の学校交流では、1年生の交流委員の生徒たちが中心となり準備および運営を行った。今年はコロナ禍で海外からの移動に制限がかかり、なかなか機会が持てないままこの日を迎え、生徒たちにとっては待ち望んだ初めての交流であった。相手校の生徒は日本語を学ぶコースに在籍しているだけあって、日本の文化や流行に対して興味関心が高く、積極的に交流しようとする姿勢が強く感じられた。また、オンラインでの交流自体にも慣れていて様子で、気後れすることなく会話を楽しんでいた。短い時間ではあったが、本校生徒と親睦を深めることができたと考える。できれば継続しての交流も想定していたが、相手校がこの翌日から長期の冬期休業に入ることによって、単発での開催となったことは少し残念であった。今年の台湾へ研修旅行が無事実施できれば、現地での交流も可能かもしれない。回線や機器のトラブルは多少あったものの、学校交流自体は概ね上手くいったように思う。今後、各教室への無線ルーターの設置が進み、ヘッドセットやWebカメラ、集音マイク等の機器が整備されていくにつれ、こういったオンライン交流への期待はますます高まっていくものと思う。一方で、生徒の英会話力やコミュニケーションスキル、ビデオ会議アプリの操作方法の習得など、課題も存在する。

(5) 参加した生徒の感想(抜粋)

- ・相手の子達は日本語がとても上手でスムーズにコミュニケーションがとれた。
- ・3人の中で主に話しているのが1人だったので他の子とも会話してみたかった。
- ・校舎の外側から見た写真を用意して見せたのが興味を示してもらえて良かったと思った。
- ・相手の子の日本に対する質問を全ては聞ききれなかったので残りが気になる。
- ・とても積極的で、1人は日本語がとても上手だった(その子がほとんど喋っていた)
- ・大きな声でしゃべらないと聞こえにくいようだった
- ・最初は40分も話していただけるか不安でしたがとても楽しく会話することが出来ました。
- ・電波が悪くなかなか上手く会話ができなかったのですが、相手校の生徒さんが何度も丁寧に話してくださってとても優しい方達だなと感じました。
- ・私は台湾の市場のローカルフードについてや街並みの雰囲気などについて沢山教えてもらいました。
- ・台湾の魅力をより深く知ることが出来たと思います。
- ・相手校さんがリードしてくださったのですが、私達はあまり日本について話すことができず、準備不足だったと感じました。
- ・畝傍高校、台湾の漢字、ニンテンドー、タピオカなどについて交流しました。
- ・相手は日本語と英語が上手すぎてびっくりしました。
- ・とてもいい人たちで、インターネット接続が悪かったり、自分たちが相手の英語を理解できなくても、笑顔で対応してくれました。
- ・昨日ぐらいから話したいことを考えていたのに、時間が全然足りませんでした。でも、スマホ

の画面から写真を見せたりして、話を通じたときはとても嬉しかったです。

- ・今後、交流機会があれば、もっと時間があれば嬉しいです。
- ・台湾の人は、日本のことをよく知っていて日本語もとても上手だった。
- ・インスタグラムで交流しているので英語で会話をしていきたいと思う。
- ・もしコロナウイルスがおさまって台湾に修学旅行に行けるなら、台湾のことをたくさん知って、そのことについて英語で会話をしてみたい。
- ・日本のマンガやアニメをよく知っていたので、はなしの流れや好きなキャラクターについても話して仲良くなりたいと思った。
- ・話の内容は日本の観光地についての話や台湾のおすすめのグルメについて、また、日本のアニメやマンガなどについてだった。特にアニメやマンガは自分が好きな作品を多く知ってくれているおかげで話がとても盛り上がった。
- ・画面越しということもあって、最初は交流が思うようにいかないところもあったが、英語と日本語を混ぜてなんとか終わり頃にはスムーズに交流できたと思う。
- ・交流の中で特に思ったのは、日本のアニメや漫画はやはり広く知られているということだ。漫画の話題になると、絵だけでも分かるので、言葉で言わなくてもコミュニケーションをとることができ、そこから交流を深められた。
- ・反省点は相手の日本語に頼りすぎた所があった事だ。こちらは日本語を普段から喋っているが、台湾の人達は勉強している外国語なので、相手の負担の事も考えてもう少し英語を使えたら良かった。
- ・授業という形ではなく、海外の人達と話し交流したのは初めてだったので異文化交流がどういったものかとその楽しさが分かった。
- ・お互いに、自分たちの趣味や部活について、日本と台湾のおせちについて話しました。
- ・交流した台湾の生徒たちは、私たちが言ったことに頷いてくれたり、終始笑顔で聞いてくれたりしたので、話しをしていてとても楽しかったし、すぐに打ち解けることが出来た。
- ・電波が悪くて接続できないというアクシデントもありましたが、言葉ではなく、文字で伝えたりなどと、工夫して、交流することが出来ました。
- ・今度こそは準備もしっかりして、全部英語で、スムーズに話せるようにしたいと思います。
- ・私達のグループは、自分達の趣味や部活を話し合いました。また、稲江高校の方々は、台湾のおせち料理の紹介をしてくれました。
- ・思っていたよりも日本語も英語も上手だったのでとても驚きました。
- ・向こうでも韓流ドラマや韓流アーティストが人気らしい。
- ・英語よりも日本語を喋れる子も多くて「台湾は親日国なのかなあ」と思った。
- ・名前を教えあった後お互いの趣味や所属している部活、学年について話した。その後、お互いの国の料理について、特に朝ごはんについて色々話して、「鬼滅の刃」についても話した。
- ・台湾では家で朝食を食べるのではなく、学校で朝食を食べるということを知ってとても驚いた。
- ・英語で話してもほとんど伝わらなかったのが日本語で話したらそっちの方が伝わって驚いた。
- ・趣味や食事のことや、クラブのことについて話しました。
- ・初めは40分間も話すことができるのかと緊張しましたが、いざ始まってみれば40分間などあっという間で、すぐに過ぎてしまっていて終わるのも気付かないでいました。
- ・英語で話すのは苦手で全然相手の人に伝えることが出来なくて困ったが、相手の方が日本語が非常に堪能でコミュニケーションを取ることができた。
- ・相手の人たちは台湾の食事や学校生活のことについてたくさんはなしてくれたので、とても興味が湧いて修学旅行で台湾に行くのがとても楽しみです。
- ・日本と台湾の文化や、奈良の事を知っているか、台湾の有名な観光地、朝ごはんの事、台湾には鞆箱が無いということなどを話した。